

グリーン物流パートナーシップ会議「物流DX・標準化表彰」を共同受賞 ～ガラスびん業界におけるパレット共同回収による効率化の実現～

トランコム株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長執行役員：神野裕弘）は、石塚硝子株式会社、磯矢硝子工業株式会社、石硝運輸株式会社、第一硝子株式会社、東洋ガラス株式会社、東洋ガラス物流株式会社、日本耐酸壘工業株式会社、日本山村硝子株式会社、柏洋硝子株式会社、山村倉庫株式会社と共に、ガラスびん業界におけるパレット共同回収による効率化の取り組みにより、2023年12月18日（月）に開催された「令和5年度 グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰[※]」において「物流DX・標準化表彰」を共同受賞しました。

※経済産業省・国土交通省等が物流分野における環境負荷低減、物流の生産性向上など、持続可能な物流体系の構築に関し、特に顕著な功績のあった事業者に対して表彰するもの

■受賞内容と受賞理由

今回の受賞は、各社で行っていたパレット回収をガラスびんメーカー7社と物流関係会社4社が連携し、トランコムの情報システムを用いた共同回収の仕組みを構築することで、輸送力不足や待機時間等の物流課題への対応、CO₂排出量削減等の環境負荷低減に貢献したことが高く評価されました。当社は、共同回収ネットワークの一部ルートの回収業務及び自社開発のパレット回収オーダーシステム（R-time）の導入・運用をしました。



<授賞式の様子>

■取り組みによる効果

<環境面への効果>

- ① 回収時の積載率が23%→61%にUP（38%向上）
- ② CO₂の削減 削減量：10.7 t - CO₂/年（51%削減）

※長野・宮城の一部納品先事例より算出

<物流課題・業界への効果>

- ① 納品車両を別用途に活用可能
- ② 納品先にてドライバーによるパレットの仕分け作業が不要になり、待機時間減少
- ③ パレット回収コストが削減
- ④ 回収状況の見える化によりパレットの滞留や紛失が低減

■今後の展望

物流業界は、ドライバー不足や物流費の上昇、CO₂の削減など、様々な課題を抱えています。今後も荷主企業と物流企業の垣根を超えた横断的な連携をするとともに、パレット回収サービスを更に強化させることで、効率的な回収ネットワークの構築、パレットの滞留・紛失を減らし、循環型社会の実現に向け取り組んでまいります。

以上